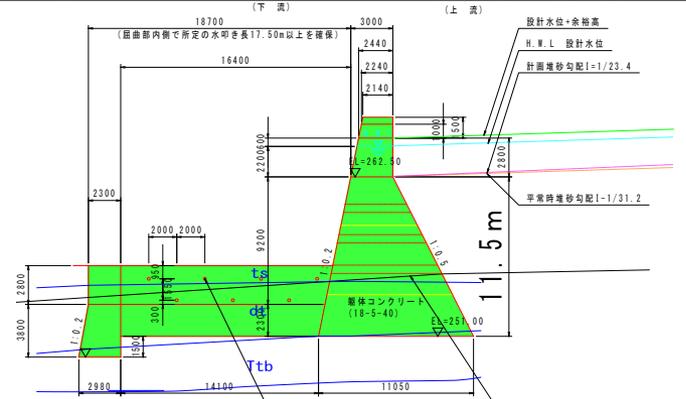
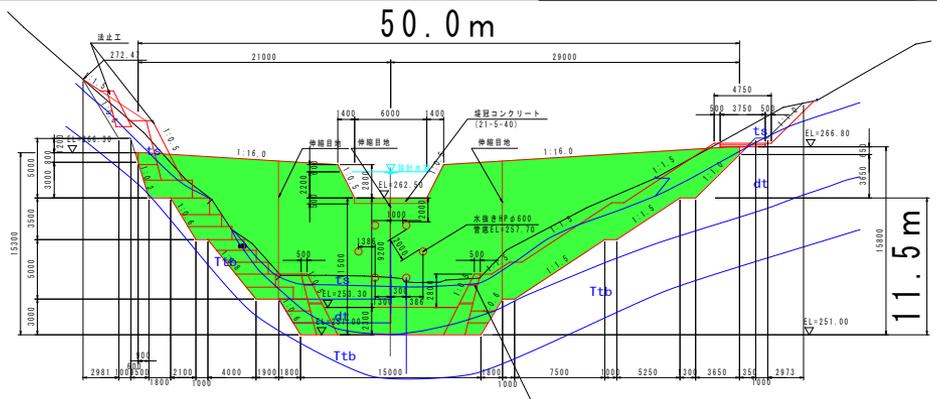
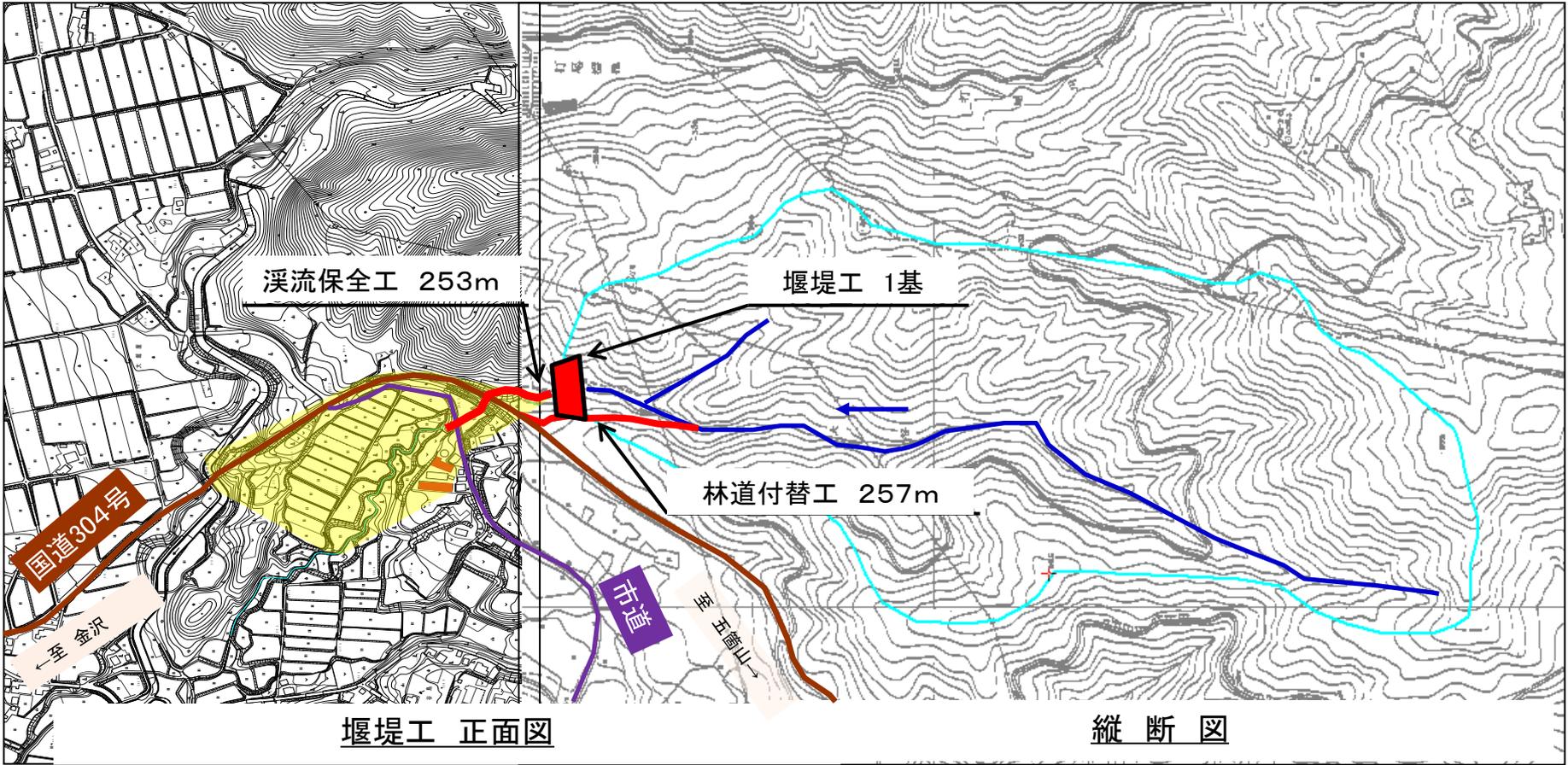
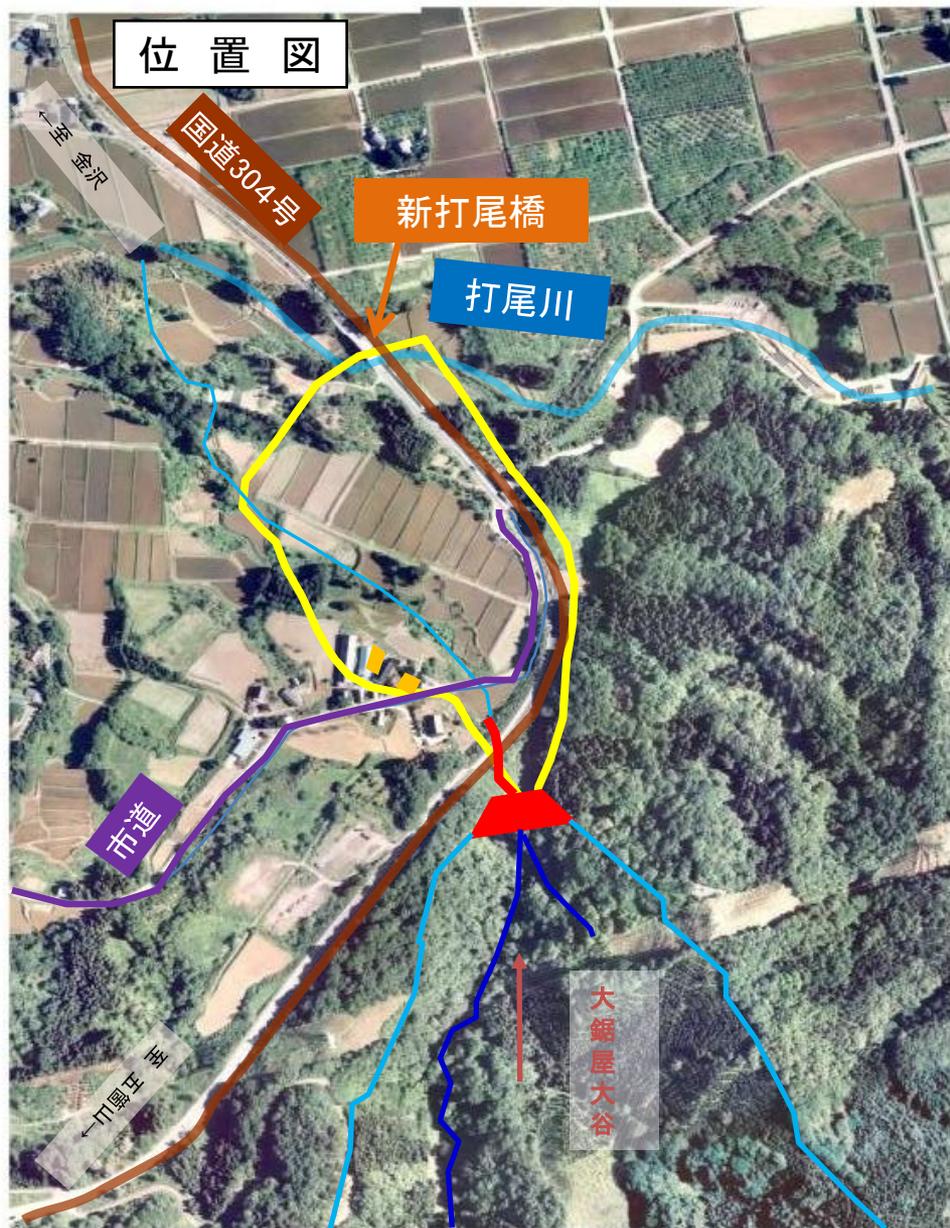


大鋸屋大谷 事業の概要



大鋸屋大谷 事業の必要性



保全対象

- ・人家 2戸
- ・道路 600m
 一般国道304号 400m
 市道 200m
- ・田畑 0.3ha

荒廃状況①



荒廃状況②



H20.7.28の被災状況



国道304号が通行止め



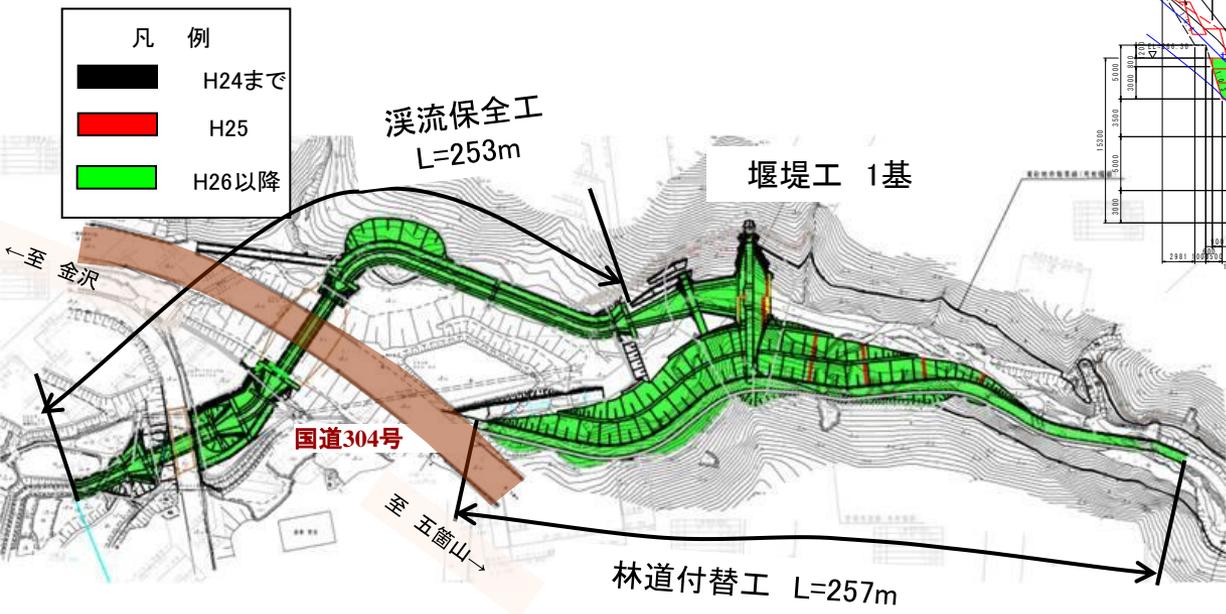
被災範囲

大鋸屋大谷 社会経済情勢の変化

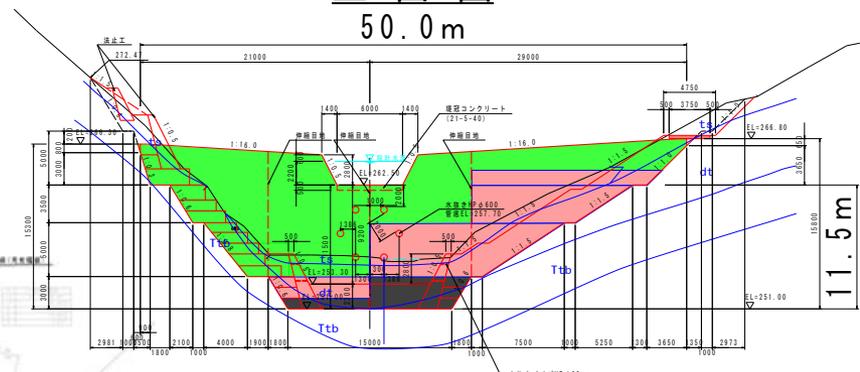
指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
保全対象人家戸数	戸	2 (H21)	2 (H25)	変化なし
保全対象農作物(耕地)	ha	0.3 (H21)	0.3 (H25)	変化なし
保全対象道路	m	600 (H21)	600 (H25)	変化なし (一般国道304号、市道)
南砺市人口	人	56,613 (H21)	54,782 (H25)	減少
費用便益比(B/C)	—	1.23 (H21)	1.30 (H25)	1.0以上

大鋸屋大谷 進捗状況

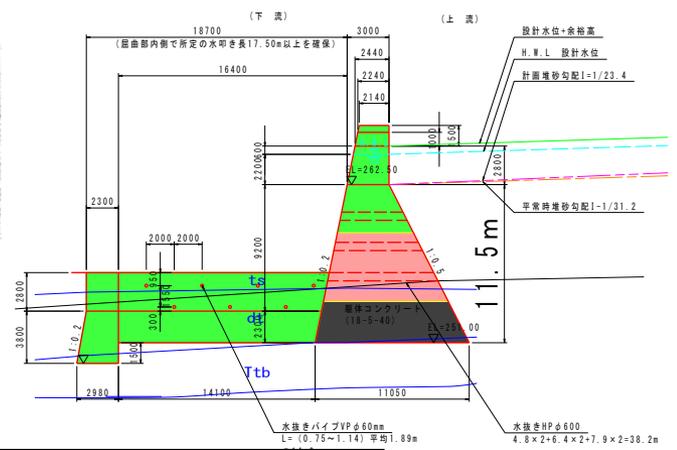
平面図



正面図



側面図



主な工種 (全体事業量)	全体計画 堰堤工 1基 溪流保全工 253m 管理用道路工 257m			H25までの進捗率	
	■ H24まで	■ H25	■ H26以降	事業量 ベース	事業費 ベース
用地補償(8,376m ³)	■			100%	100%
堰堤工(8,084m ³)	■	■	■	46.4%	49.5%
溪流保全工(253m)	■			0%	0%
林道付替工(257m)	■	■		9.7%	7%
合計					32.7%

大鋸屋大谷 代替案立案等の可能性

- ・流域内の土砂流木の状況や下流への影響など調査
- ・堰堤の構造形式及び林道付替工のトータルコストを比較
- ・林道付替時に現地発生土砂を再利用することで**経済的となる重力式コンクリート堰堤を採用し、コスト縮減を図っている。**

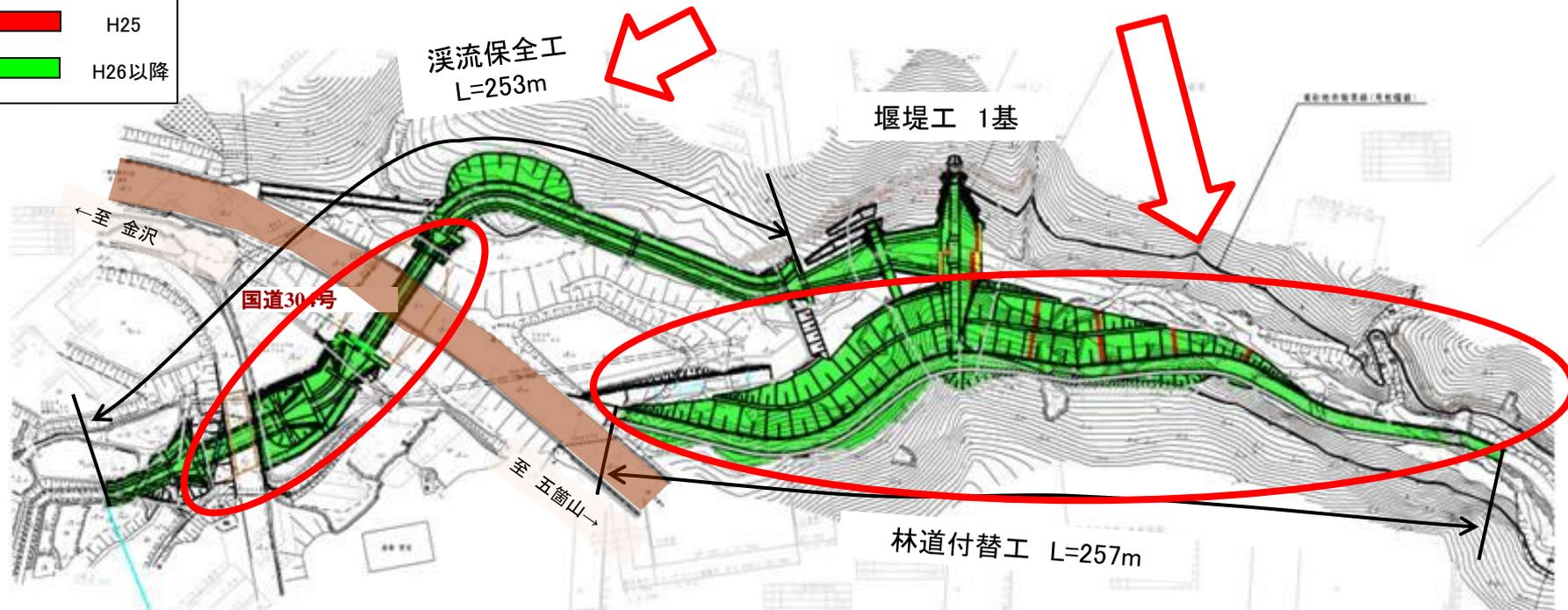
	重力式コンクリート堰堤	ダブルウォール堰堤	INSEM-SBウォール堰堤
特徴	型枠を組んでコンクリートを打設する。 コンクリートの重さで土石流に対抗する。	上下流に鋼製パネルを設置し、堰堤内部には掘削土砂を入れて構築する。 現地で発生した土砂の有効利用が図れる。	上下流にコンクリート保護材を設置し、堰堤内部には掘削土砂にセメントを混ぜた材料(砂防ソイルセメント)を入れて構築する。 現地で発生した土砂の有効利用が図れる。
側面図			
写真(例)	<p>通常は残土の運搬が必要だが、今回は林道付替工の盛土に再利用可</p>		
比較	1.0	1.02 (採用案を1.0とした場合の比率)	1.04 (採用案を1.0とした場合の比率)

大鋸屋大谷 今後の事業の見通し

平面図

凡例	
黒色	H24まで
赤色	H25
緑色	H26以降

並行して整備推進！



現計画で事業継続 (完成予定 平成27年度)